

これからの若者

佐藤吉伸

「成せば成り、成さねば成らぬ何事も、成らぬというのは、成さぬなりけり」とかいうのがある。それは人間的心理。

しかし、何事も人並みすぐれた者になるうと思えば、人並み以上苦勞と努力とをしなければならぬ、という事をしみじみと悟った。

苦勞した人は、隅から隅まで気がつきやすいとともに、又一面、気がねや遠慮やひがみ根性などにも陥りやすい。

最初から人間が順境に育って、思う事をみな成るといふふうであったなら、その人はなるほど、天才的な技能をドンドン發揮する事は出来るが、自分の事はよくわかって、逆境にある人の事は、わからない。

だから同情も欠け、したがって世を清めるという仕事はとうていできないのである。

ゆえに、生まれてから死ぬまで、逆境に沈んではたまらないけれど、若い間にひと通り苦しみを味わって、人生の裏表をよく見きわめるといふ事からいえば、人はどうしても、一度は逆境に立ってみるべきである。

あくまでも自分の道は自分で開くという決心がなくてはならない。絶対に他人に迷惑をかけないという気持には、よほど苦勞

した人でなくてはわからない。

だから、今、目前に苦しみがぶらさがっているのも、非常にありがたい事なのである。

感謝と希望に充ちて努めるべきである。

どんな事があっても、恨んではならない、悔んではならない、失望してはならない。

自分の力のつづく限り、最善の道を進むべきである。

今迄、お互いに鬭争をつづけ、始めてここにけんか口論をやってきていたのが、一人前になって、社会の風にふれて、だいたい考えも熟してき、行動も角がとれてきたといふところじゃないか。

これ迄見えなかった道が見え出してくる。

これからの若者、頑張れ!

(明治コンサルタント株)

